

待降節第二主日礼拝

《主日朝礼拝式次第》

【入祭の部】

前 奏（黙祷）
「聞け、荒れ野から」（讃美歌 21 の 237 番）
高浪晋一作曲

あいさつ
讃 美 讃美歌 21/229 番
開会の祈り
交 読 詩 篇 詩編 124 篇

【第一部 み言葉の礼拝】

聖 書
✦ルカによる福音書 1 章 26～38 節
✦ルカによる福音書 1 章 46～55 節
（新約 P100）
応 答 唱 讃美歌 21/38 番
教 話 井上隆晶牧師
『マリアの賛歌』
使 徒 信 条

【第二部 聖餐礼拝】

奉 献 讃美歌 21/72 番
教会の祈り（連祷）
平和の挨拶
讃 栄 讃美歌 21/83 番
主のいのり
陪 餐

【応答と派遣と祝福】

讃 美 讃美歌 21/179 番
感謝の献物
栄光の讃美 讃美歌 21/24 番
祝福の祈り 井上隆晶牧師
後 奏（黙祷）
「いま来たりませ」（讃美歌 21 の 229 番）
J.Ch.H. リンク作曲

【本日の礼拝奉仕者】

司式補佐 屋宮英男
奏 楽 飯田雅子
献金当番 ウィル・ピーヴィ
受付当番 小坪英恵

【本日の予定】

◇教会学校（朝 9 時 30 分）
・お話し：小坪英恵
◇讃美歌練習（礼拝後）
◇合同祈禱会（礼拝後）
◇定例役員会（午後 1 時）

【今週の教会での集会のご案内】

◇朝の祈禱会
・12 月 11 日（火）午前 9 時
・12 月 14 日（金）午前 9 時
◇英会話グループ
・12 月 15 日（木）午後 7 時 30 分

【次週主日 12 月 14 日のご案内】

◇教会学校礼拝（午前 9 時 30 分）
・お話し：澤田昌人
◇主日朝礼拝（午前 10 時 30 分）
・聖 書
✦ イザヤ 7 章 4～14 節
✦ マタイ福音書 1 章 18～25 節
・教 話 井上隆晶牧師
『神はわれらと共にいます』
・讃美歌 21 241、38、236
・交読詩篇 詩編 125 篇
・司式補佐 寺田律子
・奏 楽 鹿野幸枝
・献金当番 畑季史子
・受付当番 相澤美子
◇讃美歌練習（礼拝後）
◇合同祈禱会（礼拝後）
◇クリスマス子供会（午後 2 時）

聖 句

「わたしの魂は主をあがめ、わたしの霊は救い主である神をたたえます。身分の低い、この主のはしためにも、目を留めてくださったからです。」

（ルカ 1…46、48）

【諸報告・個人消息】

①《今週の井上牧師の予定》：9 日（火）午後 1 時 30 分「大宮保育園職員礼拝」、13 日（土）午前 9 時 30 分「大宮保育園クリスマス礼拝」
②《12 月の教会行事予定》
■12 月 7 日（日）午後 1 時「定例役員会」
■12 月 14 日（日）午後 2 時「クリスマス子供会」
■12 月 16 日（火）午前 10 時「心の病の勉強会」
■12 月 21 日（日）午前 10 時 30 分「クリスマス礼拝」、礼拝後「愛餐会」食事は各自持ち寄りです。
■12 月 24 日（水）午後 6 時「クリスマス・イヴ礼拝」
③12 月 6 日（土）昼 12 時から午後 3 時まで大阪 YWCA クリスマスバザーがあり、都島教会も出店いたしました。10 名の方がご奉仕下さり 33,621 円の売上収益を得ることができました。皆様のご協力に感謝します。
④【祈禱課題】新しい教会堂を立てる為。ウクライナとガザに平和が実現する為。刑務所にいる友と家族の為。子供たちの成長の為。新しい信徒、求道者が与えられる為。

⑤【先週の集会統計】

日	集 会	男子	女子	大人	計	礼拝献金
30	CS 礼拝	—	1	6	7	¥1,250
	集 会	男	女	子ども	計	礼拝献金
30	朝の礼拝	9	14	5	28	¥13,330
2	朝の祈り	4	2	—	6	
5	朝の祈り	1	2	—	3	

⑥【11/30 の献金報告】

【月定】屋宮英男（計 10,000 円）【感謝】屋宮英男、安田美穂子、小池律子、中村恵子（計 18,184 円）【互助】小淵公子、山千代誠子（計 2,000 円）【謝恩日】屋宮英男（計 1,000 円）

【先週の説教要旨の続き】

でもそうですが「本人が治りたい」と思わない限り、いくら医者や周りの家族や友人が助けようとしても治らないのです。38 年間ベトザタの池で寝たきりの病人にイエス様は「良くなりたいか」と聞かれました。それと同じです。
心なごむ会に出席されている O さんという方がいます。この方は、今度洗礼を受けられるそうなのですが、毎回、その口から出る言葉に感心します。彼女の夫は精神障害をもっていました。医者にかからず、暴力と暴言を吐いて、家族を苦しめ続けました。夫はやがて亡くなりますが、その後、彼女は精神障害について勉強するようになり、自分が悪かったと思うようになります。彼女はつらい経験から意味を学ぼうとし、決して人のせいにならず、自分を一生懸命変えようとしているのが分かります。そしてそのような人は、見ていて清々しく、周りの人を励まします。カルト宗教から脱会して洗礼を受け、キリスト教徒になろうとする人たちも勇気を与えてくれました。変わろうと努力する人は美しく、神の霊がその人に働きます。だから実を結ぶのです。救い主キリストを迎えるための準備とは何でしょう。悔い改めとは何でしょう。悪いことをやめるといった、この世の道徳的なことではないのです。やめられるくらいなら、神の子の十字架は必要ないのです。悔い改めるとは、自分の無力さを認め、救い主を必要とする心です。自分を変える必要があり、変わらなければならないという、悔いし砕けた魂です。そのような心の準備こそ最も、神様に喜ばれる準備なのです。この待降節の時「自分は変わりたい」「自分は良くなりたか」と強く願うこと、そしてそれを祈り続けるようにしましょう。

